
死神と魔女

紫穂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神と魔女

【Nコード】

N4648F

【作者名】

紫穂

【あらすじ】

死神という名の魔女殺しを務めている、才神家の息子才神樹と孤児院で暮らす、鬼追和奏の悲しくて、夢い恋物語。

初めての魔女殺し

「と、う・・・さ・・・ん？」

グサツツ・・・ジュパアア・・・

女の背中を鎌で刺し、そこから溢れ出る血液。

「魔女の血は・・・毒だ。浴びてはいけないよ。いつ、き。」

漆黒に輝く瞳。倒れてゆく父親。

「とうさん！！」

まだ、はっきりと現状がわかっていなかった。でも今倒れていくのは自分の親。

走って、とうさんのところまで駆け寄って支えた。

ヌルツ ポタツ・・・ポタツ

暗闇だったから気付かなかった。腕とお腹の辺りを、怪我していたことに。

「　　！！大丈夫！？こんな大怪我・・・。」

涙ぐんでいる自分を見て、ニコツつとわらった。

「怪我じゃないよ。魔法だ。大丈夫。これくらいすぐに治。」

自分の方を見ていた父親は、力尽きてカクンッと下を向いてしまった。

「とうさん？とうさん！とうさん！！」

必死になって叫んでしまった。

死んでしまうかと思うほどに、体温が下がっていつていつていっているから。

「父さん」ってことは、あんたも死神？」

頭の中が、親のことではいつぱいになっていたせい、まったく後ろからの気配を感じ取れなかった。

「どっちにしろ・・・殺すけど。」

キイイン

上から振り落とされたナイフを骨になった腕で受けとめた。

「受け止めた？素手で？」

ブスツツ

一瞬で、振り返って、女の心臓を握った。

「さすがの魔女でも、心臓を潰せば死ぬよな？」

手を差し込んだままで、握っていた心臓を潰した。

グシャアア

女は倒れながら、灰になっていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4648f/>

死神と魔女

2010年12月10日18時05分発行